

---

情報番号：教育技法-14

テーマ：ブレインストーミング

編著者：IBEX-T

## 1. ブレインストーミングとは

ブレインストーミングはA. F. オズボーン（アメリカの広告代理店の副社長。1938年）によって開発された手法で、ある問題や課題に対し、集団の効果を生かしながら、自由奔放にアイデアを出し合う会議方式をいう。現在では古典的な技法になっているが、研修のみならず実務の中でも根強い人気を保っている。

名前のごとく「ブレイン（頭脳）で問題をストーム（強襲）すること」をねらっているが、日本語に訳しにくいためブレインストーミング、単にBS、ブレスと呼んでいる。簡単な手法であるため、一般の研修のみならず、通常の会議場面でも活用されている。また問題解決のプロセスでもよく用いられるため、問題解決の研修でも活用される。